# 神子区公民館だより

第47号
令和4年12月
発行責任者
高下清人
☎59-2533


## 川内川堤防清掃・草払い

8月28日（日）晴れ、午前6時から川内川堤防の草刈り清掃を行いました。今回は、湯田原・櫃ケ迫・上下大迫公民会の総勢91名のパワーが炸裂。1時間25分ほどで作業は終了しました。草の背丈はかなり伸びていましたが皆さんの頑張りで無事終了しました。この作業は一人ひとりの頑張りと作業仲間同志の協力のたまものです。また、一人の方が自主的にブロワを貸して下さいました。大変助かりました。刈り取った草の持ち出しは業者さんにやってもらいました。頑張ってくださった皆様ありがとうございました。〈館長〉

上段：作業前　下段：作業後

## 稲留神社の枯れ木を伐採

9月29日（木）立ち枯れていた楠の木の枝（切口78㎝）と切口40㎝の檜を伐採しました。今年1月には気づいていましたが、この大木で高木の伐採をしてくれる業者さんが見つからず困っていました（予定が一杯とのこと）。そこに栗牧裕幸さん（中間）から熊本の業者さんの紹介があり、早速契約を結びました。作業当日早朝からクレーンを運び込み、宙吊り状態で枯れ木の上部からクレーンで吊るした枝を伐採。この繰り返しで無事完了しました。作業状況を見ていましたが、地上3名と上空1名は絶えず無線で連絡を取り合い、実に丁寧で安全な作業でした。4名の内1名は女性でしたがてきぱきとした動作で無駄のない動きには感心しました。なお、伐採した木は、神社内の林に置きました。また、伐採費用は約22万円でした。予算を大きく下回り、ほっとしました。紹介してくださった栗牧さんありがとうございました。〈館長〉

クレーンによる高所作業

## 鶴田小学校運動会

10月30日（日）晴れ、第1回鶴田小の運動会が行われました。流水小と旧鶴田小が一緒になり、新しい鶴田小で初めての運動会です。児童113名が運動場に集合。高学年のアナウンスで、一同整列・入場開始です。白・赤組に分かれ1年生から6年生が横並び。学年別での身長差で見事なピラミッド形に整列。児童は校長先生のお話しに耳を傾けました。まずは、短距離走とかけっこ。地響きを唸らせ迫力ある走りの高学年生。一生懸命に走りぬける低学年生。「もうすぐ一年生」15名のかわいい素振りのかけっこに大声援。15種目をやりぬいた児童たちの誇らしげな姿が印象的でした。大声援にちょっと物足りなさを感じたのは、新型コロナの関係で校区合同運動会ではなかったこと。来年こそは、「小学校校区合同大運動会」が出来ることを願いながらの楽しい半日でした。〈館長〉

## 神子区花火大会

「神子区夏まつり」を中止したため、昨年同様11月3日（祝）神子区花火大会をあび～る館さんと共催で開催しました。新型コロナを考慮し、区民の皆様だけにチラシでお知らせしましたが、かなりの人出となり賑わいました。あび～る館さんは昨年同様、鶏の炭火焼き、そしてうどんが大好評。昨年より大幅に材料を増やして持ち込みましたが、長い行列の途中までしか販売できず、社長さんは恐縮していました。神子区も昨年より立派な屋台を作り飲み物（アルコール類は除く）を販売しました。飲み物部門は、下大迫正昭館長代理、高嶺公民会長、萩木場一水さん、栗野洋行さん（共に湯田原・地域担当職員）。灯ろう部門は湯田原、櫃ケ迫、大野、上下大迫の4公民会長さんに手伝いをお願いしました。飲み物部門はお茶とカルピスウォーターを96本完売。灯ろうは会場の川側に飾り、陽が落ちるころにローソクに火を灯し来場の皆さんに見てもらいました。興味深く灯ろうを見入る方も大勢いました。なお、飲み物販売の収入は、区の財源の一部として一般会計に入れました。お手伝いの皆さんありがとうございました。いよいよ花火の点火です。来場の皆さんの歓声が続く中、約500発の花火を打ち終えました。花火点火前から雨が降り出したのはちょっと残念でした。この花火大会が無事に事故もなく開催できたのは、消防神子分団の待機・見守りのおかげ。感謝です。来年こそは、夏まつり時に花火が見られることを祈願しています。〈館長〉

## 「人・農地プラン」会議

11月5日（土）人・農地プラン（神子区の農業を考える会）会議を開催しました。役場から担い手支援室長を含め8名、区から認定農業者、農業委員、農地利用最適化委員、公民会長、監査委員と正副館長の計25名で検討会を行いました。

① 今後の地域の中心となる経営体（担い手）では、現状（R4）の経営内容と経営規模の修正と計画（R9）の目標等を協議しました。

② ①から見た地域における担い手の確保状況は「担い手はいるが十分ではない」とまとめました。

③ 将来の農地利用のあり方では、担い手に集積・集約するか等3項目を確認しました。この会議で全6項目について話し合いました。

担い手については厳しい現状にあることを認識しながらも、この会議を重ねながら神子区の基幹産業である農業を発展させるよう区民全体で考える必要性を感じました。〈館長〉

## 町駅伝競走大会

11月13日（日）3年ぶりに「第18回さつま町駅伝競走大会」が実施されました。明け方まで降っていた雨も上がり、少し暑さを感じる中、白男川紫陽館を午前10時にスタートし、ゴールのかぐや姫グラウンド入口までの13区間で熱戦が行われました。鶴田チームはA・Bの2チームが出走。Aチームは2区でトップに立ち、その後は一度も首位を明け渡すことなく、二位に2分以上もの大差で優勝しました。また、Bチームも圧巻の粘りで5位に入り、Bクラス優勝を果たしました。小学生から50歳台の大人まで一本の襷に思いを込め「これぞ鶴田チームの結束力」という姿を見せてくれました。選手は勿論、チーム関係者、スタッフの方々本当にご苦労さまでした。そして、おめでとうございました。〈館長代理〉

## 区有林間伐完了

区有林・小兎ケ尾の間伐が終わりました。作業は（有）植村林業さんにやってもらいました。丁寧な作業でした。残された木々は広々とした空間でのびのびと枝を伸ばし〝これから一回り大きくなるぞ〟と四股を踏んでいるようでした。これから先が楽しみです。伐採で得た収益約32万円は山林特別会計の定期に積立ました。伐採箇所は令和5年1月の区有林調査で役員一同により確認したいと思います。〈館長〉

## 中止となった行事

10月9日実施予定であった「第10回町民体育祭」が新型コロナの影響により、11月19日に実施予定であった「第18回区公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会」が雨天により中止となりました。

## 神子地区コミュニティセンター「無償譲渡を受ける」に決定

区だより8月号でもお知らせしました、区コミセンを「無償譲渡を受ける」か、「区で新築する」かについて、7月の第4回役員会で「区コミセン譲渡等に関する検討委員会」を設置し各公民会において、文書や集会または放送等で公民会員での検討をしていただきました。11月「第2回区コミセン譲渡等に関する検討委員会」で全公民会の検討結果を集約できました。集約結果は、会員全員に近い数で「無償譲渡を受ける」に決まりました。この結果をもって役場に「無償譲渡を受ける」旨の報告書を提出しました。今後は、区コミセンの補修・修理箇所等について検証し、これらの工事をしてもらうことにしています。その後、完成を確認し、令和8年4月に引き渡しを受けたいと思います。引き取った後は神子区の財産となり維持管理等は区で行うことになります。ただし、区公民館活動運営補助があり、世帯数や高齢化率、区公民館の施設維持に要する費用などを基礎として補助額が算定されます。活動運営補助金＝均等割＋世帯数割＋施設割です。また、現在も公民館の電気料や水道料、建物災害保険料などにかかった費用の約90％を補助金としてもらっていますが、今後も引き続き適用されます。〈館長〉

## 新年に向けて・館長

区民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年も新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から我慢を強いられた一年でした。また、この夏は大型台風がほぼ直撃に近い進路での予報が出ましたが、上陸手前で勢いが衰えたりしたため、思ったより被害が小さかったのは幸いでした。各地でも行事が中止となり、神子区でも多くの行事を中止せざるを得ませんでした。しかし、区夏まつりは中止としましたが、区ゴルフコンペ、7月3日の区公民会対抗グラウンド・ゴルフ大会、灯ろう審査会、11月3日花火大会を開催することが出来、皆様に喜んでもらえたのは良かったと思っています。また、2回の川内川堤防の草刈りも実施することが出来ました。皆様の協力の賜物と感謝申し上げます。神子区民全員で『オール神子で新たな挑戦』です。

来年は新型コロナも収まって、穏やかで、実り多い年になることを祈念し、年末のあいさつとします。良いお年をお迎えください。

今回の神子区だよりは、片面印刷です。